

# 池田氏事務所など捜索

## 自民派閥裏金議員初の強制捜査

自民党の最大派閥「清和政経研究会」(安倍派)が政治資金ハブ・ティー収入の一部を裏金化していたとされる事件で、東京地検特捜部は27日、政治資金規正法違反容疑で、同派に所属する池田佳隆衆院議員(57)に比例票海川の職員会館事務所(東京・永田町)などを家宅捜索しました。池田氏は阿派から4000万円超のキックバック(還流)を受け、政治資金収支報告書に記載していなかった疑いがあります。

坂崎憲吉會(東京都港区)や池田氏の地元事務所(名古屋市中区)にも捜索が入りました。議員会館事務所には午前10時45分ごろ、東京地検の係官10人前後が入りました。報道陣が入り、報道陣に囲まれるように待機。2時間ほどして女性スタッフが入り口口のシャッターを開けると、相次いで入るといきました。

関係者によると、安



池田佳隆衆院議員の地元事務所へ家宅捜索に入る東京地検の係官ら(27日午後、名古屋市中区白坂)

議員側の収支報告書に記載せず裏金化していた疑いが持たれていました。

池田氏は8日付で2022年の収支報告書を訂正。事務所は「政策活動費と認識して記載していなかったが、寄付として記載すべき性質のものだと判断した」と訂正理由を説明していました。

池田氏は愛知県出身で、当選4回。21年10月から22年8月まで文部科学副大臣を務めました。

議員の当選回数や役職によってノルマを設け、超過分の収入を議員側に還流させています。超過分は派閥や

## かつて「拝金主義」憂えたが...

### 池田衆院議員

「どんな手段であろうと金を稼いだ者が賞賛される、勝ち組と称される、そんな拝金主義の価値観が、市場原理主義、経済至上主義を押し進めるもので肯定されてきている」と2008年6月7日、衆院特別委員会。教育基本法改定を巡り、当時、日本青年会議所会頭であった池田佳隆衆院議員(比例東海)が、参事人として述べた言葉です。

17年後、池田氏は、政治資金規正法違反容疑で家宅捜索を受けました。日本にまだある「拝金主義」を憂えた池田氏が、いつしか裏金づくりに陥陥になり、私腹を肥やすようになった裏面

さにあきれられるばかりです。また池田氏は、日本教育再生機構設立時の理事でもありました。同機構は、安倍晋三元首相の「徳育教育」の政策ブレインを務めた八木秀次氏を理事長とし、改革・優勝競争を強化する青少年社教育料書にもかかわってききました。

「純真無垢な徳心の醸成を図り」「道徳心あふれた市民あふれるそんな日本」を「日も早くつくらねばならない」と(06年、衆院特別委員会)と語り、「道徳教育」事業の推進まで訴えていた池田氏。道徳を語るのであれば少なくとも法律違反の疑いから逃げず、国民に責任をもって説明すべきではないでしょうか。(編)